

2014. 8. 24 聖別会

# IMMANUEL

インマヌエル  
中目黒キリスト教会  
聖別会マンスリー



2014年

＜聖化の豊かさを味わう＞「聖化の説教」①  
「我が前を歩みて、全くあれ」(創世記 17:1)  
ホーリネス大阪栄光教会・松沢力男牧師

＜新シリーズの目的は、①日本のきよめ派を代表する牧師たちの説教に触れ、聖化の恵みの豊かさを味わうこと、②聖書全体から、聖化の教えと強調を知ること＞

はじめに

- ・ 契約関係にあるアブラハム
- ・ その契約の片務性：片務契約とは、契約当事者の片方だけが一方的になすことによって成立する契約。別名「恵みの契約」

1. 沈黙の期間の後の神の現われ

- ・ イシュマエルの誕生（アブラハム 86 歳）から 17 章（同 99 歳）までの 13 年は空白
- ・ ハガルの受容は軽率であった
- ・ 17:1 の「現われ」は可見的
- ・ 空白期間は、神の忍耐期間

2. 全能の神

- ・ エルシャダイ＝「山」または「乳房」で、「養う」という意味から「全能」を指す
- ・ 無から有を生じさせる無限の可能性

### 3. 全き歩み

- ・「歩み」とは生活全般のこと
- ・「全き」(タミーム) : 神の御心に適う
  - ①全き悔い改め、②全き信仰、③全き献身 (全き明け渡しによって心が変えられる=キリストと共に死に、甦る)
- ・聖霊によって神とともに歩む生涯

### 4. 祝福の約束

- ・祝福の契約が更新された
- ・恵みによる祝福である (行いへの報いとしてでなく、信仰に応える恵みとして与えられる)

### 5. 新しい名前

- ・アブラム (高い父) → アブラハム (多くの国民の父)
- ・名前の変化は、神による変化 (全き者とされて、聖い、深い、愛の、豊かな、命溢れる信仰の交わりの中に入ること) を意味する

### 6. 神の民の印としての割礼

- ・割礼は神の民であることを示す印
- ・霊的には、心の欲が浄められ、従順な者とされ、神を敬い、讃美する者とされること

### 結論

- ・信仰義認は、「主を信じ、義と認められた」(15:6) 経験
- ・全き聖化は、第二の転機で、「全き者」(17:1) とされる経験。それは、献身と従順と明け渡しによって、聖霊に満たされること
- ・全き歩みは、柔和と遜り、また、光の中を歩み、キリストの中に留まる事で保たれる